



# India Weekly

2020年8月31日

情報提供資料



(対象期間：2020/8/24～2020/8/28)

## 【株式市場】SENSEX指数の推移 (2016年1月1日～2020年8月28日)



## 【株式市場】

週初から新型コロナウイルスの新治療法の開発への期待を背景に海外株式市場が堅調となる中、インドも堅調推移となりました。26日は、財務相が二輪車のGST（物品・サービス税）引下げの可能性に言及したことが好感されました。翌27日にインド準備銀行（中央銀行、RBI）のダス総裁が銀行システムは健全で安定した状況が続くとの見方を示したことから銀行株が買われました。外国人投資家からの資金流入が続き、インド株式市場は週を通じて上昇しました。

2020/8/21	2020/8/28	変化率
38,434.72	39,467.31	+2.69%

## 【債券市場】インド本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2020年8月28日)



## 【債券市場】

週初は、RBIによる債券市場支援策不在の中、インド10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。25日はRBIがオペレーションツイスト\*を行うと発表したことを好感して、利回りは低下しました。26日は、前日発表のオペレーションツイストの規模が不十分との見方から売り優勢となりました。27日はダスRBI総裁の発言により、RBIがタカ派的との懸念が後退して買い戻されました。28日も国債入札後に利回りが低下しましたが、週間では上昇しました。

2020/8/21	2020/8/28	変化幅
6.088	6.143	+0.055

## 【為替市場】インドルピーの対円レートの推移 (2020年1月1日～2020年8月28日)



## 【為替市場】

インドへの直接投資にかかる資金流入や、ダスRBI総裁がまだ景気支援のための策を使い切っていないと発言したことなどがルピーの支援材料となり、ルピー-高米ドル安となりました。一方、円も対米ドルで上昇しましたが、ルピーの上昇幅が大きかったことから、ルピーは対円でも上昇しました。

2020/8/21	2020/8/28	変化率
1.412	1.435	+1.66%

\*中央銀行が公開市場操作において、長期国債の買い（売り）オペと短期国債の売り（買い）オペを同時に行うことで、市場への資金供給量を一定に保つたまま、長短金利を逆の方向に動かす金融政策の手法の一つ。今回RBIは、中長期国債の買いオペと短期国債の売りオペを同時に行った。

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

### イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルグループ

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。